Q&A 一般質問 町政を問う

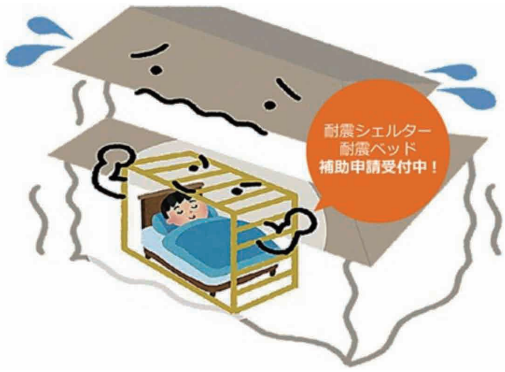
「一般質問」とは、議員が行政全般にかかわるさまざまなテーマについて、町の方針や町長の考えなどを問いただすものです。

一般質問は年に4回開催する定例会ごとに行います。

令和6年3月定例会においては、15人の議員が32項目の質問を行いました。

この記事は、質問者本人から提出されたものを紹介しています。

全文については、町議会ホームページの「会議録」に掲載します。



命を守るために!!

地震対策

多田雄一（ただゆういち） 議員

Q 命を守る耐震シェルターの普及を

A PRに努める

質問（議員） 将来起こる可能性がある大地震に備えて、家屋が倒壊しても住民の命を守り、避難経路を確保できる耐震シェルターについて、その有用性をもっとPRして導入を勧めていくべきでは。

答弁（防災課長） 現在ホームページや広報などでPRしているが、より周知されるようチラシ配布も検討する。

質問（議員） 今回の能登半島地震でも、女性・子どもから避難所のトイレが使いにくいとの声が聞こえる。近隣の市町と共同でトイレカーを整備してはどうか。

答弁（防災課長） 調査研究をする。

質問（議員） 避難所の生活用水の確保のため、各避難所に井戸を設置してはどうか。

答弁（町長） 考えていない。

その他の質問

- 水遊びができる公園

空き家対策

白井政志（しらいまさし）議員

Q 空き家の増加を防ぐ施策は

A 解体補助制度や意識啓発を行う

質問（議員） 空き家の放置を防ぐため、町として対策や支援はあるのか。

答弁（町長） 取り壊しの補助制度を設けている。管理不全空き家に対しては、勧告処置を適用し、固定資産税の住宅用地特例適用対象から除外することも検討する。

質問（議員） 空き家の増加を防ぐ施策はあるのか。

答弁（町長） 空き家の利活用を考えている。所有者の協力も必要だが、イベントスペースなど、活用の意向があれば所有者と積極的に関わる。

質問（議員） 海田町空家等対策計画の進捗はどうか。

答弁（町長） 予防対策に力点を置き、解体費用の助成制度は、一定の効果があると認識している。

その他の質問
- 職員の働き方について

空き家の放置を無くそう

海田にコーヒーショップを!

企業誘致

新谷知紀（しんたにともき）議員

Q いつごろから交渉をするのか

A 複数の事業者と折衝を進めている

質問（議員） 町民の関心が非常に高いスターバックスの誘致だが、いつごろまでに話をするのか。

答弁（町長） 公約に掲げたスターバックスをはじめ、海田町のブランド価値を高め、まちのにぎわいを象徴するような企業や店舗を誘致することを目指し、複数の事業者と折衝を進めている。

質問（議員） まちの賑わいを創出するために、多岐にわたる分野で協力して事業を行う包括的連携協定を結んでみてはどうか。

答弁（町長） 事業者と取り組むまちづくりの手法のひとつとして検討していく。

学校給食

佐中十九昭（さなか とくあき） 議員

Q 無償化の推進を

A 中学校3年生分を無償にする

質問（議員） 全国的に、急速に学校給食費無償化が進んでいる。食教育の「生きた教材・食の教科書」として、学校教育法でも教育活動の一環に位置付けられている。

答弁（町長） 進学を控え、教育費など保護者の経済的負担が大きくなることを考慮し、令和6年度から中学校3年生分の無償化を進める。

Q 瀬野川の汚染水の発生対策は

A 暫定指針値を下回っている

質問（議員） 東広島市内で瀬野川の水から国の暫定指針値の2．8倍の有機フッ素化合物が検出されているが対応は。

答弁（町長） 町内調査の結果、国の暫定指針値を下回っている。引き続き、定期的に水質検査を実施し、結果を公表していく。

その他の質問
- 町長選公約と「つくろう、新しい海田」について
- 安心して子育て出来る海田町に

全小・中学校も無償化に

海田小本館、震度6強の揺れに耐えられる?

小学校建替

下岡憲国（したおか のりくに） 議員

Q 海田小学校本館の計画は

A 令和7年度中の事業着手を目指す

質問（議員） 議会は、昨年9月に海田東小と海田小本館の早期建替を求める決議を行った。執行部は、東小を令和10年度末までに建て替える計画を示したが、海田小は示していない。耐力度点数は、東小が低いが、コンクリート圧縮強度は、海田小の方が低い。海田小の建替も同時か、せめて1年遅れで進めるべきではないか。

答弁（教育長） 令和5年度中に概算事業費を試算し、令和7年度中の事業着手を目指す。

質問（議員） 広島県は、能登半島地震を受け、南海トラフ大地震発生時、最大震度6強の揺れを警告している。東小の建替期間5年は長すぎる。1～2年短縮すべきだ。

答弁（教育長） 他自治体の事例も参考に工期短縮の手法を研究する。

その他の質問
- 新畝橋について
- 組織改革について
- 自治会対応について

音声コード

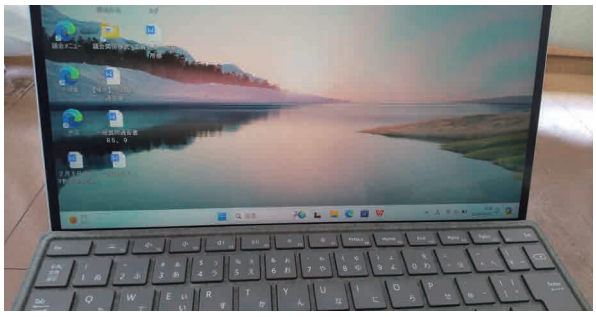
大髙下光信（おおこうげみつのぶ）議員

Q 早期導入を
A 福祉計画概要版で活用予定

質問（議員） 令和4年5月25日に障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が公布・施行された。視覚障がいのある方が自立し、社会参加していくためには、情報のバリアフリー化が重要である。音声コードは、紙媒体に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えるための二次元のバーコードである。最近では、スマートフォンを使った安価な読取システムも開発されている。このシステムを応用すれば、視覚障がい者だけでなく、高齢者や外国人の方にも対応できる。導入について検討してはどうか。

答弁（町長） 今年度末に策定する障がい福祉計画・障がい児福祉計画の概要版で、音声コードを使用する予定。

音声コードの導入を



タブレットを活用しサポートを

発達性ディスレクシア

小田久美子（おだくみこ）議員

Q タブレットを活用したサポートを
A サポートしている

質問（議員） ディスレクシアにより、学業不振が現れたり、二次的な学校不適応などが生じることがある。日本の小学生では、クラスに平均2～3人いるとみられる。タブレットを活用しサポートしてはどうか。また、保護者などを対象に学習会や講演会を実施してはどうか。

答弁（教育長） ふりがな表示や音声と画像機能がついたデジタル教科書などを使用し対応している。保護者などには関係機関が主催するセミナーの周知や通信の発行、入学説明会などで特別支援学級の取組の説明を行っている。

※ディスレクシアとは、学習障害の一つで、全体的な発達に遅れはないが文字の読み書きに困難がある状態のこと。

その他の質問
- こども誰でも通園制度と現在の保育環境について

公共下水道

久留島元生（くるしまもとお） 議員

Q 山畝地区における整備は

A 現況公図調査の実施を進める

質問（議員） 山畝地区は、10年以上前から開発事業者が立ち退きを進めている。この度、話し合いが一致して、工事が進むと聞いている。また、団地付近の地域に、以前から15軒くらいの世帯が残っている。この世帯を含め、団地内に公共下水道を整備する必要がある。地権者との協議の完了時期はいつか。

答弁（町長） 一部の地権者から、町道および公共下水道整備について協力する意向が示されたため、整備に向けた検討に着手した。しかし、当該地区は、地形と公図が一致しない公図混乱地区である。現在は、現況公図調査の実施に向け準備を進めており、完了時期を想定することは困難。

下水道の早期完成を!

総合公園

石橋京子（いしばしきょうこ） 議員

Q 適切な維持管理を

A 徹底する

質問（議員） 遊歩道舗装の劣化、織田幹雄氏体験パネルの破損が目立つ。公園の特色を出すため、指定管理者任せにせず、町主導で適切な管理をするべきではないか。

答弁（町長） 舗装については、修繕を行い、体験パネルは、復元を検討する。管理者には、維持管理を徹底させ、町として利用者のニーズに合った公園づくりを行う。

質問（議員） 公園内のフラワーロードとしての取り組みは。

答弁（町長） 公園進入路の歩道沿いへの花壇設置などが考えられる。夏場の維持管理が課題。指定管理者やボランティア団体と検討。

質問（議員） 無料駐車場の実現は。

答弁（町長） 民間事業者のサウンディング調査を通じ、公園の魅力に応じた料金設定を検討。

早く直して!

その他の質問

- テレビdボタンの取り組みを
- 瀬野川の有機フッ素化合物検出による、海田町の水道水・地下水は

町道6号線バイパス

崎本広美（さきもとひろみ）議員

Q 未着手用地の交渉状況は
A 一部地権者と交渉に着手

質問（議員） 難航してきた起点付近の地権者との土地取得交渉に進展があったとして、物件調査費が昨年9月議会で計上された。4名の地権者が残っているが、交渉状況の説明を。

答弁（町長） 一部地権者との用地交渉に着手した。その他の地権者についても順次交渉を始め、1日でも早く交渉に着手する。

Q 旧串掛林道工事用道路は

質問（議員） 用地の寄付申出がありながら、新しい橋の整備を始めた。工事用道路は、原状回復の上、地権者に返還するべきであるが、どのように対応する予定か。

答弁（町長） 周辺住民や地権者の様々な意見を踏まえ適切に対応する。

このバイパスいつ完成するの?

まだかな? 手話言語条例の制定は!

手話言語条例

大江康子（おおえやすこ）議員

Q なぜ制定しないのか
A 国や県の法制化が優先と考える

質問（議員） 昨年の3月と6月議会で要望した「庁舎内への手話通訳者の設置」が、11月からの試行後、令和6年度から月1回の実施となった。しかし、同時期に要望した「手話言語条例の制定」については、何も進展がない。先行事例を調査・研究するとの答弁だったが、その後の経過は。

答弁（町長） 条例の内容や条例制定後の取組・効果について情報収集中である。引き続き、国や県の法制化などの動向を注視していく。

質問（議員） 市町によっては、国や県の動向を待たず条例を制定している。制定への早期実現の考えはないか。

答弁（福祉保健部長） 県も検討に入っていると聞く。動向を踏まえながら現計画を進めていく。

その他の質問
- コミュニティバスやシャトルバスの運行について

ドローン

西田誠一（にしだせいいち）議員

Q 魅力づくりと情報発信に活用を

A 効果などについて調査・研究する

質問（議員） 町の魅力スポットや旧跡を撮影するため、ドローンを自由に飛ばすことのできる場所を設けて、告知する考えはないか。また、そこで撮影された画像や動画をユーチューブに上げ、観光資源として活用しては。その上で、外国語の字幕を入れ、町の魅力を国内外へ広くＰＲをする考えはないか。

答弁（町長） 他県の事例はあるが、条件が異なっている。まずは、そうした場所の設置の可否や効果などについて調査・研究を行う。また、外国語の字幕を入れた動画のユーチューブでの発信は、関係団体の協力を得ながら、可能なものから取組んでいく。

その他の質問
- 有害鳥獣に関する注意喚起について

空撮で魅力発信

大丈夫？いざの時の共助力

共助力の醸成

玉川真里（たまがわまり）議員

Q 自治会からの声への対応は

A 自治会連合会と直接協議する

質問（議員） 自治会存続のため、行事に補助金は出せないか。

答弁（町長） 自治会の声を聴き、支援制度を見直す。

質問（議員） 各自治会の成功事例を共有しては。

答弁（町長） 検討する。

質問（議員） デジタル化対策は。

答弁（町長） 知識の普及を行い、機器の導入は、個別に対応する。

質問（議員） 人材育成塾をしては。

答弁（町長） 仕組みを検討し、町の活性化につながるよう取り組む。

Q 合理的配慮の徹底は

答弁（町長） 職員を含め徹底し、広報などで各事業者へも周知する。

質問（議員） 要支援者名簿を知識のある消防団女性部にも共有を。

答弁（防災課長） 共有可能である。

総合公園

むなかた ひろゆき
宗像啓之 議員

Q 駐車料金支払方法の簡素化を

A 早急に検討する

質問（議員） 精算に必要なコインは、管理棟でしか販売していない。子ども連れの家族や体の不自由な人には負担になっている。改善する必要があるのでは。

答弁（町長） 現在、整備中の2期工事に併せて改善する。

質問（議員） 先行して整備するか、コインの自販機を駐車場に設置できないか。

答弁（副町長） 当面の処置として、コイン自販機設置を検討する。

Q 県道矢野海田線の工事説明は

質問（議員） 2車線化工事の地元説明は、工事開始後、問題が起こるまでされていない。事前に説明するよう申し入れるべきでは。

答弁（建設部長） 今後は、このようなことがないよう留意する。

コイン自販機あればいいのに!

災害に強い水道を!

上下水道の耐震化

まえだかつお
前田勝男 議員

Q 料金改定をしてでも急げ

A 改定の必要性を検討

質問（議員） 能登地方では、1月の震災により断水が発生しており、復旧は4月頃になるという。本町の水道などの耐震化は、どのようになっているのか。多少の料金改定を行ってでも命の水を確保するための耐震化を急ぐ必要があると思うが、その進捗率は、どのようになっているか。

答弁（町長） 浄水場が50パーセント、配水池が100パーセントとなっている。また、各家庭に送る管路は約32パーセント、雨水幹線は64・8パーセントとなっている。令和6年度から行う水道ビジョン見直しの中で、料金改定の必要性を検討したい。

Q 海小の早期建替を

A 令和7年度中の事業着手見込